



力作ぞろいの展示コーナー



初登場! 神林健康友の会



皆さんを出迎えた出店コーナー



菅野中学校吹奏楽部迫力の演奏



力強い子ども太鼓



信濃の国を斉唱



山飛グッズの当たる抽選会



毎年になぎやかなひろばまつり



令和元年(2019年)11月1日現在	
総世帯数	1,901世帯
総人口	4,710人
男	2,286人
女	2,424人

# 第49回 神林ふれあい文化祭

「令和新時代を築くふれあい文化祭」をスローガンに10月20日(日)に、快晴の空の下、参加者や来場者など多くの人でにぎやかに開催されました。力作の文化祭ポスター、小学生の選挙啓発ポスター、園児の絵などの作品が壁一面に張り出され、写真、絵などの出品が出迎えました。

ステージではサークルなど13団体が1年間の活動の成果の発表をして、来場者から盛大な拍手をいただいていた。

竣工後初めての体育館で菅野小、中学校ブラスバンド、神林太鼓連の演奏は体育館を揺り動かし、感動を呼びました。

玄関前駐車場では、出店が来場者をお出迎えし、人の波も絶えませんでした。

関係各位の皆様また実行委員の皆様には前日よりの準備など、大変ご協力をいただき誠にありがとうございました。

## 神林神社例大祭

神林神社例大祭が9月21日(土)宵祭り、22日(日)本祭りの開催されました。のぼり旗の旗竿が折れるハプニングがありましたが出店が多く立ち並び、宵祭りではたくさんの人出によりにぎやかに開催されました。神事の初めに稚児の奉納に始まり、稚児、神主の舞が披露されました。また役席者による鏡開きで樽酒の振る舞いもあり、祭りを盛り上げました。



## 公民館功労賞

神林公民館表彰規定により、満5年以上継続して公民館専門委員を務めていただいた井上治夫さん(寺家)、上原章さん(南荒井)、唐木謙一さん(下神)の3名を塩原公民館長より文化祭開会式の中で表彰いたしました。長年に渡りご尽力いただきありがとうございます。



入賞者の皆さん

高野豆腐は、比較的小さめに切られ、彩りにモロツコインげん、かぼちゃが入り、温まる一杯でした。

表彰は文化祭の開会式の中で行われ、そのレシピを元に健康づくり推進員が250食作り、来場者に振る舞いました。えのきだけ、人参、キャベツ、冬瓜

野菜をたっぷり使い、なおかつ胃に優しい味噌汁を教えてくれた棚橋武子さん(川東)に最優秀賞が贈られました。

具だくさんみそ汁コンテスト ~神林版~

# 各町会の敬老会



川西町会



南荒井町会



町神町会

梶海渡町会



支え合って大成功！  
第3回松本マラソン

10月6日(日)、第3回松本マラソンが行われ、約7000人のランナーが秋の松本平を駆け抜けました。

コースのお蔭元である神林からも多数のボランティアが参加し、力走に応えるべく給水業務などに従事しました。

ランナーからは給水所で「頑張つて」などと声を掛けられたのが励みになったとの声もあり、ランナー、ボランティア双方にとって良い思い出が出来たようです。



## 雨の飛騨高山 ～秋の史跡めぐり～



10月25日(金)、土砂降りの中、各々足元を長靴にしたがり、全身雨合羽で雨対策をしたりして26名がバスに乗り込みました。

紅葉が始まっている山間を抜け高山に着くと、私達と同じように雨にもかかわらず訪れている観光客が大勢いて賑わっていました。

まず高山陣屋を見学。代官所だったというそこは建物にも庭にも厳格さが漂っているようでした。その後昼食を兼ねた市内散策は自由行動。雨に濡れた古い町並みは、それはそれで趣がありました。午後は高山祭屋台会館できらびやかな屋台を見学。絢爛豪華なだけでなく、細部にまでこだわって作られた匠の技。今度は祭りで練り歩いている姿を拝見したいと思いました。

神林手話の会、ろうあ者と交流  
「パイナツフルカフェ」



10月28日(月)、福祉ひるばに40名弱が集まりました。

テーブルごとに思い思いに自己紹介したり、紹介したり、〇〇はどうやって手話で表すの?と尋ねたり。難しいときには筆談で尋ねたりしました。神林手話の会のメンバーは文化祭でも披露した手話歌『花は咲く』と『ふるさと』を披露しました。

## 鎖川

即位礼正殿の儀が皇居松の間で執り行われた。当日の荒天や前週の台風により被災された方々への配慮から、その後の祝賀御列の儀は11月10日に延期された。それでもテレビ等で注目していた方も多い事でしょう。▼お支度に時間のかかる皇后様は天皇陛下より1時間早く皇居へ向かわれた。沿道に詰めかけた人たちの姿を見つけると小雨の降る中、お車の窓を開けて笑顔で手をお振りになった。いつの時代も皇后様の笑顔は私達を幸せな気持ちにしてくれる。

▼高御座での天皇陛下のお言葉は国民に寄り添うお気持ちに溢れていて、自然と私達に安心を与え、それでいて心ふるえる思いがした。▼古式ゆかしい儀式や、天皇皇后両陛下、皇族方のお衣装を拝見すると、日本に生まれて、日本人に生まれて良かった、恥じぬよう真つ当に生きたいという、不思議な誓いが改めて胸に湧いた。



### キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で5名に500円分の図書カードをプレゼント!締切は12月27日(金)、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】

【今回のキーワード】

しゅうひせい ○○○○○う○○○